

令和5年度第3回海外経済セミナー

「地域の可能性を最大化する『アドベンチャートラベル』

徹底攻略セミナー」を開催しました！

2023年11月16日(木)、今年度第3回目となる海外経済セミナー「地域の可能性を最大化する『アドベンチャートラベル』徹底攻略セミナー」を開催しました。今回は、クレアのプロモーションアドバイザーとしてもご活躍いただいている、株式会社インアウトバウンド仙台・松島の代表取締役の西谷氏を講師にお招きし、現在のインバウンド市場において世界でも注目を集めている「アドベンチャートラベル」をテーマにご講演いただきました。

西谷氏はこれまで、地元である青森県弘前市を拠点に地域資源を活用した様々な観光コンテンツの造成を行われてきました。アドベンチャートラベルやサステナブルツーリズムに関連するツアーではご自身がガイドを務めるなど、地域の魅力発信に積極的に取り組まれています。

セミナーでは西谷様に、自治体ができる取り組みとして、地域資源の磨き上げをはじめ、観光との掛け合わせ方や観光人材育成など、「アドベンチャートラベル」を語るうえで欠かせない要素を、具体的な事例を交えながらご説明いただきました。

<講師プロフィール>

株式会社インアウトバウンド仙台・松島 西谷 雷佐 氏
2012年、着地型観光に特化した「たびすけ」を創業。「短命県体験ツアー青森県がお前を KILL」等、地域の暮らしぶりに注目したツアーを多数企画実施。2018年、インバウンド事業に特化した「インアウトバウンド仙台・松島 (DMO 法人第 20065 号・第 2 種旅行業)」を創業。居酒屋を巡る Drinking Tour は JNTO の「日本で体験すべき 100 の体験～100 Experiences in Japan～」に選出。自身もガイドとして訪日旅客のアテンドを行う。創業時より持続可能に注目し 2020 年より Adventure Travel へ発展的に展開。造成したツアーは Adventure Travel World Summit 2021 北海道のオフィシャルエクスカーション(全国 5 本)に選出され、JNTO の web サイト(Japan Adventure)にも掲載。2022 年、“歩く旅”というテーマに特化した「合同会社歩く東北研究所」を設立、副代表に就任。全国の山やトレイルを歩き地域資源の磨き上げを行っている。各地にて持続可能な観光地域づくりやサステナブル/アドベンチャーをテーマとした講演や研修を行う他、地域資源を活用したツアー造成、ガイド育成等のコンサルティングにも取り組んでいる。



アドベンチャートラベルとは

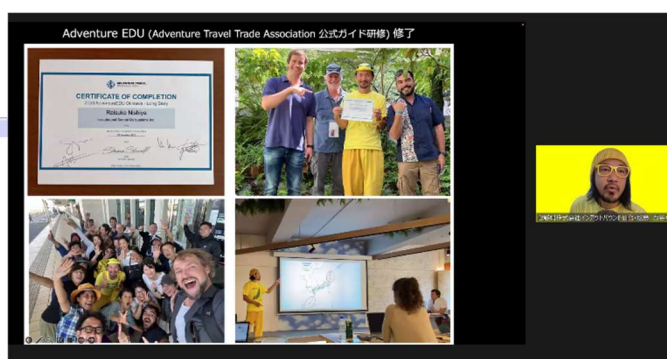
昨今よく耳にするアドベンチャートラベルですが、単に「自然の中で遊ぶ」ということではなく、自然と掛け合わせた観光コンテンツの造成過程において、どれだけ価値を創出するかが重要であると西谷氏は言います。例えば、日本の国立公園の入園料が無料であるのに対し、アメリカやオーストラリアの国立公園では入園料を徴収されることが一般的です。これは環境資源の保護や園内管理の活性化を目的としており、結果として来場者に良質な体験を提供することができるという仕組みになっています。各地域に存在する地域資源も同様に、ストーリーを加え、高付加価値化させることで地域の観光におけるポテンシャルを开花させることに繋がると、西谷氏は考えます。

自治体の取り組み～観光資源の磨き上げと掛け合わせ～

地域に目を向けると、自然のみならず地元の伝統文化などをはじめとする歴史的資源など、これまで活用されていない隠れた魅力で溢れている自治体も少なくありません。そこで西谷氏が、自治体ができる取り組みとして挙げたのは、「地域内調達率の向上」についてです。食材において地産地消が推奨されるように、自治体が地域で眠っている資源の利活用を促進していくことは、新たな観光資源を造成するうえで必要不可欠な要素であると言えます。しかし、造成後も、Leave No Trace（環境への影響を最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラム）の採用や観光地向けの国際認証取得へ向けた取り組みをするなど、継続的なアプローチを行う必要があると、西谷氏は言います。

観光人材育成の重要性

実際に西谷氏が取り組まれた事例の一つである「みちのく潮風トレイル」では、西谷氏自身もガイドを務め、ツアー参加者と青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸を歩くそうです。この道中、参加者は地元の食文化に触れ、時には伝統文化である例大祭に参加するなど様々な体験を通してその地ならではの魅力を発見します。そのうえで西谷氏は、アドベンチャートラベルにおけるガイドツアーでは、顧客の「満足度」を上げることも、顧客の「納得度」を上げることが求められていると言います。そのため、西谷氏がガイドをする際は、起承転結のストーリーを作り、参加者へ説明するのではなく体験を通して理解を深めてもらうよう心掛けているそうです。



アドベンチャートラベルを推進していくあたり、質の高いガイド育成は切り離すことので

きない要素です。現在我が国において、ガイド人材の高齢化による人材不足など喫緊な課題に直面するなか、地域に根差した活動を行う「地域おこし協力隊」を活用した人材育成も打開策の一つであると、西谷氏は言います。自治体は、世界水準に対応可能な観光人材を、長期的な視点で育成し、インバウンド誘致へと繋げることが求められています。

【最後に】

事後アンケートからは、「今後アドベンチャートラベルの推進を検討するにあたり非常に有意義であった」、「これまでの当市におけるアドベンチャートラベルの取り組み方は間違っていなかった、と確信することができた」など、高い評価をいただきました。クリア経済交流課では、今後も関係各所と協力・連携しながら、自治体に役立つ経済情報を提供してまいります。来年度以降のセミナーも、どうぞお楽しみに！

経済交流課 山田（群馬県嬭恋村派遣）

